三重県　地震被害想定（数値等）

三重県南海トラフ地震被害想定について（令和08年03月31日）　https://www.pref.mie.lg.jp/D1BOUSAI/845440078610001.htm
地震被害想定調査結果の概要（平成26年03月31日）　https://www.pref.mie.lg.jp/D1BOUSAI/84544007861.htm

（参照元）
・死者数【三重県南海トラフ地震被害想定（令和7年度版）】より
・重傷者数【三重県南海トラフ地震被害想定（令和7年度版）】より
・軽傷者数【三重県南海トラフ地震被害想定（令和7年度版）】より
・自力脱出困難者数【三重県南海トラフ地震被害想定（令和7年度版）】より
・要援助者・要捜索者数【三重県南海トラフ地震被害想定（令和7年度版）】より
・全壊・焼失棟数【三重県南海トラフ地震被害想定（令和7年度版）】より
・避難者数【三重県地震被害想定調査結果（平成25年度版）】より
・医療対応力不足数【三重県地震被害想定調査結果（平成25年度版）】より
・日常受療困難者数【三重県地震被害想定調査結果（平成25年度版）】より

定量評価

死者数【Ｌ１】

○【L1】過去最大クラス
○三重県全体で最も被害が大きくなるケース

概観
死者数は県全体で約29,000人と推計され、そのうち津波による死者が約28,000人で死者数の大半を占めています。

地域区分	市町名	今回想定結果								
		建物倒壊等	（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）	津波	（うち自力脱出困難）	（うち津波からの逃げ遅れ）	急傾斜地崩壊等	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
北勢	桑名市	約 20	－	約 400	約 10	約 400	－	－	－	約 400
	いなべ市	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	木曽岬町	－	－	約 10	－	約 10	－	－	－	約 10
	東員町	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	四日市市	約 70	約 10	約 100	－	約 100	－	－	－	約 200
	菰野町	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	朝日町	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	川越町	－	－	約 200	約 10	約 200	－	－	－	約 200
	鈴鹿市	約 30	－	約 100	－	約 100	－	－	－	約 200
	亀山市	－	－	－	－	－	－	－	－	－

「－」：わずか（５未満） 時期：冬・深夜 ※端数処理のため、合計が各数 値の和に一致しない場合がある。 ※早期避難率低の場合

【三重県南海トラフ地震被害想定（令和7年度版）】より

定量評価

重傷者数【L１】

○【L1】過去最大クラス
○三重県全体で最も被害が大きくなるケース

概観

重傷者は県全体で約2,300人と推計され、そのうち建物倒壊等による重傷者が約1,800人で全体の７割以上を占めています。

地域区分	市町名	今回想定結果						
		建物倒壊等	（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）	津波	急傾斜地崩壊等	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
北勢	桑名市	約 60	約 20	－	－	－	－	約 60
	いなべ市	－	－	－	－	－	－	－
	木曽岬町	約 10	－	－	－	－	－	約 10
	東員町	－	－	－	－	－	－	－
	四日市市	約 200	約 50	約 20	－	－	－	約 200
	菰野町	－	－	－	－	－	－	－
	朝日町	約 10	－	－	－	－	－	約 10
	川越町	約 10	－	約 10	－	－	－	約 10
	鈴鹿市	約 80	約 30	約 20	－	－	－	約 100
	亀山市	約 10	約 10	－	－	－	－	約 10

「－」：わずか（５未満） 時期：冬・深夜 ※端数処理のため、合計が各数 値の和に一致しない場合がある。 ※早期避難率低の場合

【三重県南海トラフ地震被害想定（令和7年度版）】より

定量評価

軽傷者数【L１】

○【L1】過去最大クラス
○三重県全体で最も被害が大きくなるケース

概観

軽傷者は県全体で約13,000人と推計され、そのうち建物倒壊等による軽傷者が約12,000人で軽傷者数の大半を占めています。

地域区分	市町名	今回想定結果						
		建物倒壊等	（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）	津波	急傾斜地崩壊等	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
北勢	桑名市	約 500	約 80	約 10	－	－	－	約 500
	いなべ市	約 50	約 10	－	－	－	－	約 50
	木曽岬町	約 40	－	－	－	－	－	約 40
	東員町	約 30	約 10	－	－	－	－	約 30
	四日市市	約 1,200	約 200	約 30	－	－	－	約 1,300
	菰野町	約 80	約 20	－	－	－	－	約 80
	朝日町	約 60	約 10	－	－	－	－	約 60
	川越町	約 70	約 10	約 10	－	－	－	約 80
	鈴鹿市	約 700	約 100	約 30	－	－	－	約 800
	亀山市	約 100	約 20	－	－	－	－	約 100

「－」：わずか（５未満） 時期：冬・深夜 ※端数処理のため、合計が各数 値の和に一致しない場合がある。 ※早期避難率低の場合

【三重県南海トラフ地震被害想定（令和7年度版）】より

定量評価

建物倒壊等による自力脱出困難者数【Ｌ１】

概観

建物倒壊等による自力脱出困難者は、県全体で最大約3,500人と推計されます。

○【L1】過去最大クラス
○三重県全体で最も被害が大きくなるケース

地域区分	市町名	今回想定結果
北勢	桑名市	約 100
	いなべ市	－
	木曽岬町	約 10
	東員町	－
	四日市市	約 500
	菰野町	約 10
	朝日町	約 20
	川越町	約 20
	鈴鹿市	約 200
	亀山市	約 10

「－」：わずか（５未満） 時期：冬・深夜 ※端数処理のため、合計が各数 値の和に一致しない場合がある

【三重県南海トラフ地震被害想定（令和7年度版）】より

定量評価

津波被害による要救助者数【L１】

津波被害による要捜索者数【L１】

○【L1】過去最大クラス
○三重県全体で最も被害が大きくなるケース

概観

津波による要救助者数は県全体で約7,900人、津波による要捜索者数は県全体で約29,000人と推計されます。

地域区分	市町名	津波による要救助者数	津波による要捜索者数
北勢	桑名市	約 800	約 400
	いなべ市	－	－
	木曽岬町	－	約 10
	東員町	－	－
	四日市市	約 200	約 200
	菰野町	－	－
	朝日町	－	－
	川越町	約 500	約 200
	鈴鹿市	約 60	約 200
	亀山市	－	－

「－」：わずか（５未満） 時期：冬・深夜 ※端数処理のため、合計が各数 値の和に一致しない場合がある。 ※早期避難率低の場合

【三重県南海トラフ地震被害想定（令和7年度版）】より

定量評価

全壊・焼失棟数【L１】

○【L1】過去最大クラス
○三重県全体で最も被害が大きくなるケース

概観

県全体で約55,000棟の全壊・焼失と推計され、そのうち津波による被害が約32,000棟で全体の5割以上を占めています。

地域区分	市町名	今回想定結果					
		全壊・焼失棟数					合計
		揺れ	液状化	津波	急傾斜地	火災	
北勢	桑名市	約 500	約 900	約 2,300	約 40	約 10	約 3,700
	いなべ市	約 20	－	－	－	－	約 20
	木曽岬町	約 50	約 100	約 90	－	－	約 300
	東員町	約 30	－	－	－	－	約 30
	四日市市	約 1,600	約 900	約 500	約 20	約 10	約 2,900
	菰野町	約 40	－	－	－	－	約 40
	朝日町	約 60	約 30	約 10	－	－	約 100
	川越町	約 90	約 100	約 1,300	－	－	約 1,500
	鈴鹿市	約 800	約 100	約 80	－	約 10	約 1,000
	亀山市	約 60	－	－	約 10	－	約 70

「－」：わずか（５未満） 時期：冬・深夜 ※端数処理のため、合計が各数 値の和に一致しない場合がある

【三重県南海トラフ地震被害想定（令和7年度版）】より

表 Ⅳ－１．１　過去最大クラスの南海トラフ地震における避難者数（冬夕発災）

地域区分	市町名	1日後			1週間後			1ヶ月後		
		避難者数	避難所	避難所外	避難者数	避難所	避難所外	避難者数	避難所	避難所外
北勢	桑名市	約 57,000	約 37,000	約 20,000	約 42,000	約 26,000	約 15,000	約 52,000	約 16,000	約 36,000
	いなべ市	約 70	約 40	約 30	約 5,400	約 2,700	約 2,700	約 6,400	約 1,900	約 4,500
	木曽岬町	約 6,600	約 4,400	約 2,200	約 5,100	約 4,400	約 700	約 6,400	約 1,900	約 4,500
	東員町	約 200	約 100	約 70	約 3,900	約 1,900	約 1,900	約 200	約 50	約 100
	四日市市	約 39,000	約 26,000	約 14,000	約 63,000	約 34,000	約 29,000	約 24,000	約 7,300	約 17,000
	菰野町	約 90	約 60	約 40	約 4,600	約 2,300	約 2,300	約 90	約 30	約 70
	朝日町	約 800	約 500	約 300	約 2,600	約 1,400	約 1,200	約 7,500	約 2,300	約 5,300
	川越町	約 12,000	約 8,000	約 4,100	約 6,400	約 5,200	約 1,100	約 12,000	約 3,600	約 8,300
	鈴鹿市	約 18,000	約 12,000	約 6,300	約 35,000	約 19,000	約 17,000	約 3,900	約 1,200	約 2,700
	亀山市	約 300	約 200	約 100	約 6,000	約 3,000	約 3,000	約 300	約 80	約 200
	（小計）	約 135,000	約 88,000	約 47,000	約 174,000	約 100,000	約 74,000	約 113,000	約 34,000	約 79,000

【三重県地震被害想定調査結果（平成25年度版）】より

1　医療対応力不足数

表 Ⅳ－４．１　過去最大クラスの南海トラフ地震における医療対応力不足数（冬深夜発災ケース）

二次医療圏	市町名	対応可能入院患者数	要転院患者数	重傷者数+病院死者数	対応可能外来患者数	軽傷者数	医療対応力不足数	
							入院対応	外来対応
北勢	四日市市	約500	約100	約100	約4,800	約1,100	－	－
	桑名市	約200	約90	約100	約1,400	約500	約20	－
	鈴鹿市	約300	約60	約70	約2,700	約700	－	－
	亀山市	約40	約10	－	約300	約90	－	－
	いなべ市	約80	約10	－	約700	約30	－	－
	木曽岬町	－	－	約40	約10	約50	約40	約40
	東員町	－	－	－	約200	約30	－	－
	菰野町	約40	約20	－	約300	約40	－	－
	朝日町	－	－	－	約30	約40	－	約10
	川越町	－	約10	約20	約20	約90	約30	約70
	（小計）	約1,100	約300	約400	約10,000	約2,700	約90	約100

※災害拠点病院及び災害医療支援病院が機能する場合

※市町間の医療搬送等は考慮していない

※対応可能入院患者数、対応可能外来患者数は、平成24年医療施設（動態）調査、平成24年病院報告、平成22年医師・歯科医師・看 護師調査等をもとに設定

【三重県地震被害想定調査結果（平成25年度版）】より

３　日常受療困難者数

表 Ⅳ－４．９　過去最大クラスの南海トラフ地震における日常受療困難者数（冬深夜発災ケース）

二次医療圏	市町名	日常受療困難者数（建物被害、火災被害による医療機能低下による）			
		計	入院	外来	出生
北勢	四日市市	約4,800	約500	約4,300	－
	桑名市	約3,600	約500	約3,100	－
	鈴鹿市	約2,200	約100	約2,100	－
	亀山市	約400	約30	約300	－
	いなべ市	約40	－	約40	－
	木曽岬町	約600	約90	約500	－
	東員町	約200	約30	約200	－
	菰野町	約200	約40	約200	－
	朝日町	約100	約20	約100	－
	川越町	約800	約100	約600	－
	（小計）	約13,000	約1,400	約12,000	－

※災害拠点病院及び災害医療支援病院が機能する場合

【三重県地震被害想定調査結果（平成25年度版）】より